

学校評価アンケートのお願い

お世話になっております。日頃より、本園の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、表題の件について、下記の通りにアンケートを実施したいと思います。より良い幼稚園運営の実現のために、改善を進めていきたいと考えております。

記

- ・アンケートは、スマートキッズ内で行います。各御家庭で、普段の検温結果入力に使用するシステムにログインしていただき、アンケートから参加をお願い致します。
- ・アンケート期間は、3/14～3/17になります。期間が短く申し訳ございませんが、宜しくお願いいたします。
- ・アンケートの入力にあたり、事前に行った園職員による自己評価を公開致します。園の自己評価をご覧いただくからアンケートへの参加をお願い致します。
- ・「職員による自己評価」「保護者の学校評価」の集計結果は、ホームページ上で公開する予定です。課題への対応のため、記名式になっておりますが、公開時ではお名前が出ることはありません。

・・・令和4年度 自己評価・・・

【評価段階】

4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない

【評価表】

評価項目		内容	評価点	
			R3	R4
保育の 計画性	園の理念 教育要領 教育課程	園の建学の精神や理念、教育目標を理解している	3.1	3.7
		教育要領を読み、園理念の理解とあわせて園長や主任と話し合う	2.3	2.8
		指導計画は、教育要領・教育課程そして園児の実態に即して作成し、周囲の状況や変化に対応できるものとしている	3.1	2.8
	環境構成	園児の健康に配慮した、安全で安心な清潔感のある環境を構成する	3.1	3.5
		園児が自発的に活動し、主体的に関わりたくなるような素材や遊具に配慮し、必要な数量を用意する	2.9	3.2
		園児の発達を見通し、心と身体のバランスがとれるよう、季節を考慮した活動と寛ぎにより、豊かな活動が展開できるよう配慮する	3.1	3.4
		園内外の自然への理解や、季節の変化に応じた環境の構成をする	3.0	3.2
	評価・反省	自己の保育についての評価・反省を様々な観点から行う	2.9	2.7
自分の保育を評価・反省することで、園全体の保育に活かしている		3.0	3.1	
園児への 対応	健康・安全	日頃から園内の危険箇所に配慮し、予測し対応する	3.1	3.1
		毎日の園児の健康視診を重視し、適時主任へ相談する	3.9	3.8
		事故やケガが発生した場合は迅速に適切な処置を行う	3.4	3.5
	幼児理解	園児一人ひとりをよく観察し、幼児の思いを受け止め、認め言葉を中心に かかわる	3.1	3.5
		個々の成長発達をふまえ、園児一人ひとりの対応を工夫し、見通しを持って 保育する	3.3	3.5

	指導	園児の思いや考えに共感し、受け入れた上で、道筋を示す	3.1	3.6
		規範意識・道徳性を培ううえで、モデルとなるよう心がける	3.1	3.5
		園児の年齢・発達に応じた指導や援助をする	3.4	3.6
保育者の 資質・ 能力	姿勢 能力 義務 組織	心ざわしい清潔感ある服装、髪型、身だしなみを心がける	3.4	3.1
		職務上の情報等の秘密を守秘する	4.0	3.8
		社会人の常識をわきまえ、行動する	3.6	3.4
		教職員組織の協調性を大切にし、チームとしての自覚を持つ	3.6	3.4
		率直な意見交換を行い、組織内の問題の共有化に努める	3.3	2.7
		当番や役割義務など、課せられた仕事は確実にを行う	3.6	3.4
		教師としての感性・教養を深める	3.3	3.0
保護者へ の対応	対話 交流 苦情 対応	保護者に園児の様子を的確に伝える	3.6	3.6
		保護者からの相談や要望をよく聞くように心がける	3.9	3.0
		保護者との対応には公正さを信条とし、教師としての自覚を持った、丁寧に正確な言動を心がける	3.7	3.7
		電話での対応は、わかりやすく真摯な対応に努める	3.4	2.9
		保護者からの話して、自分で判断出来ない場合は、園長・主任等に報告、連絡、相談をする	4.0	3.3
		苦情の内容によっては教職員組織全体で共有化し、共通理解の上で対処する	3.9	3.3
地域・ 自然・ 社会との かかわり	地域	地域の自然や施設、行事等について理解し、利用する	2.3	2.6
		地域の住民に配慮した保育を行い、清掃を協力し、騒音を抑える努力をする	2.4	2.4
	幼小連携	小学校の教育内容について理解するよう努める	2.3	2.1
		地域の小学校行事や公開授業等に関心をもつ	1.7	2.0
	子育て支 援	子育て支援や地域への開放について、内容を理解する	2.3	2.3
		教員としての知識を活用し、子育て支援や園庭開放へ取り組む	2.4	2.4
研修と 研究	研修や研 究への 意欲・態 度	研修に自己課題を持って積極的に参加する	2.6	2.6
		自分の保育について自己課題を持って、日常的に研究を怠らない	2.7	2.6
		自分の保育のあり方や悩みについて、他の保育者や主幹、園長に相談する	2.4	3.3
	保育者と しての専 門性に関 する 研修や研 究	幼児の発達に必要な知識を学び、現場に活かす研修・研究を行う	2.7	3.0
		記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	2.1	1.9
		教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	2.1	1.8
		幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行う	2.3	2.6
		保護者への対応に関する研修・研究を行う	2.0	1.9
		組織内の協力・連携に関する研修・研究を行う	2.3	1.9
	専門的課 題に関す る 研修や研 究	アレルギー、成長の遅れ、問題のある幼児について研究し理解する	2.9	2.4
		預かり保育や子育て支援について研修や研究をする	2.3	1.7
		幼小連携の必要性や具体的方法について研修や研究をする	2.3	2.3
		子どもたちの安心・安全に関する、危機管理の必要性と対応について研修や研究をする	2.4	2.4

※地域の自然や施設とは、公園や博物館の公的機関や、商店等の民間の施設も含む。

※研究とは、書籍やネットで調べたり、目的をもった工夫された保育を行い、記録し総括を次に活かすこと

【総評】

- ・「園の理念、教育目標」は良く理解して保育ができていますが、指導要領への理解に不安を持っている。園の理念と教育要領を照らし合わせ、理念を踏まえた上で要領に基づき計画を立てることを徹底していく。
- ・職員一人ひとり、自己の中で満足のいく保育ができていますので、職員全体として目指す保育像、理想とする保育を共通理解し、園の方向性を園全体で考えていくことにチャレンジする段階にあると考える。
- ・少ないながらも、自然環境を最大限に活かし、子どもを真ん中に環境構成を考えていくことに引き続き力を入れていく。
- ・園児に対する指導は、経験や自信が積み重なり、高い評価へ繋がっているが、保護者との関わりに不安がある。特に十分に保護者の話を聞くことができているかに不安がある。保育へ対する自信がそのまま保護者へ対する自信につながるよう、保護者との接面を増やすよう工夫をしていきたい。
- ・感染症により、行事の中止や変更が余儀なくされた。今後も感染症対策に重点を置きながら、園児たちの最善の利益を追求しながら今後も努めていく。
- ・研修や研究については、教育要領や課程、個人記録や要録等、必要とされる知識の獲得に不足が見られる。一方で、教育方法や記録等の書類業務については、社会状況の変化や記録媒体の技術革新、基本的保育方法の変革等、一概に評価するのが難しい時代でもあり、確率するまでの過渡期と考えても良いと思う。ただし、ドキュメンテーションやエピソード記録、自由保育の取り入れ等、園の理念に沿った形であれば、積極的に研究しても良いと考える為、どのような研修や研究であれ行ったことは評価して良いと伝えていきたい。
- ・全体的な傾向として、経験や研修により、個々の保育スキルの向上が見られるが、比例して理想とする保育の向上もみられ、昨年と比較しても、それにより上昇した目標に到達できた部分と出来なかった部分の差が出て来ていると考えられる。特に、用事理解の面では満足できるが、保護者対応や小学校接続等の箇所では前年を下回る原因になっていると考えられる。しかし、教師の平均年齢の低さからも、これからの伸び幅は大きく、期待が持てるものと推測できる。また、保護者理解も小学校接続も、基本の幼児理解ができていなければいけないので、今後は多方面にわたり気にかける能力が育ち始めると思われ、その支援を行っていきたい。